



国営木曾三川公園 整備・管理運営プログラム

平成28～32年度の整備及び管理運営方針



- ①フラワーパーク江南
- ②かさだ広場・各務原アウトドフィールド
- ③河川環境楽園（木曾川水園）
- ④138タワーパーク



- ⑤ワイルドネイチャープラザ
- ⑥桜堤サブセンター・木曾長良背割堤
- ⑦長良川サービスセンター
- ⑧アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道
- ⑨木曾三川公園センター
- ⑩東海広場・鶴戸川
- ⑪船頭平河川公園
- ⑫カルチャービレッジ

●まます
中央水郷地区タワーパーク
マスコットキャラクター



中央水郷地区



- ミズリン
138タワーパークタワーパーク
マスコットキャラクター

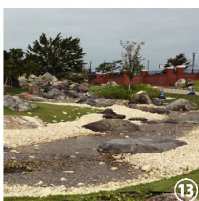
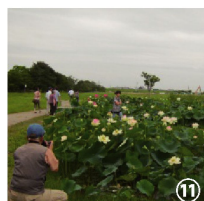


三派川地区



⑬桑名七里の渡し公園

河口地区



平成29年3月

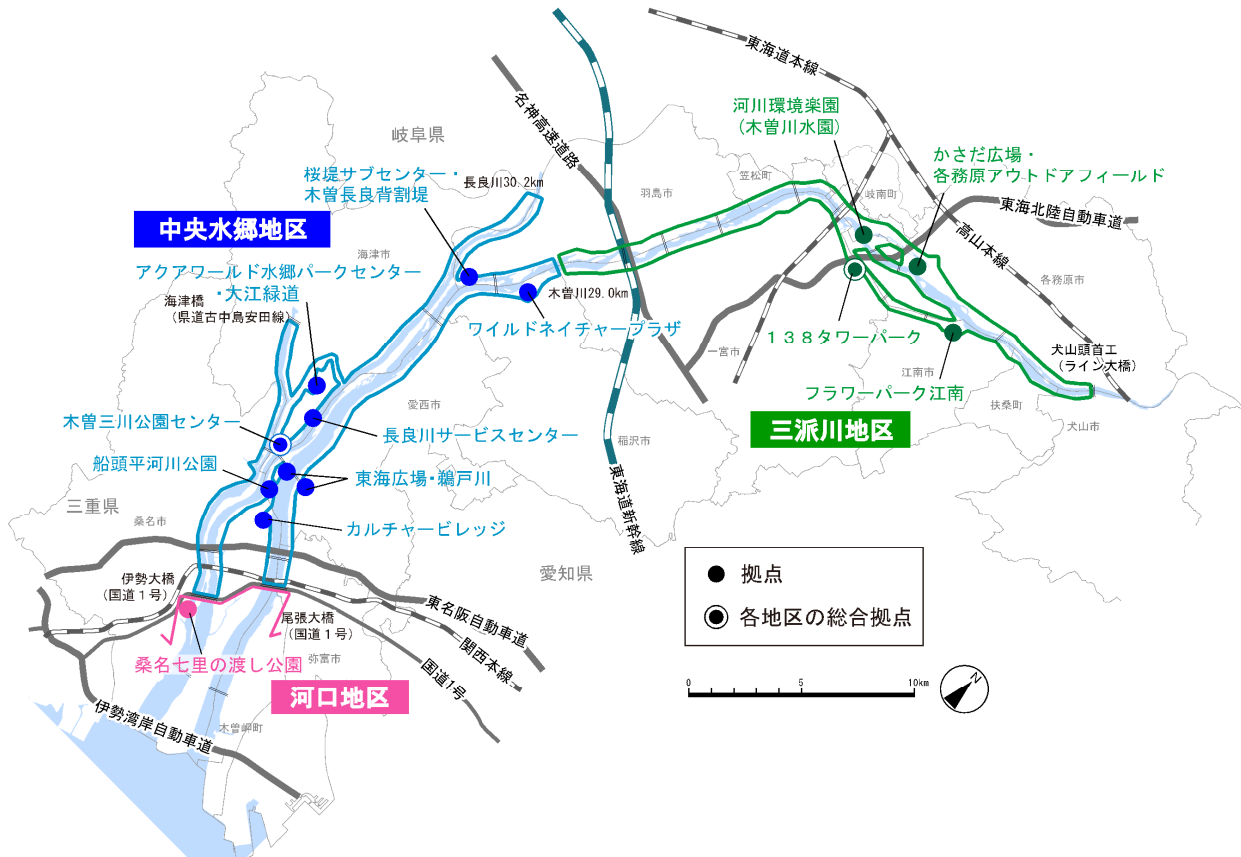
国土交通省中部地方整備局

1. はじめに

国営木曾三川公園は、木曾川・長良川・揖斐川の木曾三川が有する広大なオープンスペースと豊かな自然環境を活用し、東海地方の人々のレクリエーション需要の増大と多様化に対応するために設置された公園です。川や流域のもつ魅力である自然環境や歴史文化そして広域的な広がり・つながりをいかしながら、これらを守り・感じ・楽しみ・学ぶ場として整備を進めています。

本公園は三派川地区・中央水郷地区・河口地区の3地区（計画面積約6,100ha）からなり、13拠点（約287.7ha）が開園しています。平成27年度には年間約1,000万人に来園いただきました。

この整備・管理運営プログラムは、社会資本整備重点計画の計画期間にあわせて、国営木曾三川公園の平成28～32年度までの整備及び管理運営に関する重点項目などを策定し公表するものです。なお、本プログラムは今後の社会情勢等を踏まえ、必要に応じて見直していきます。



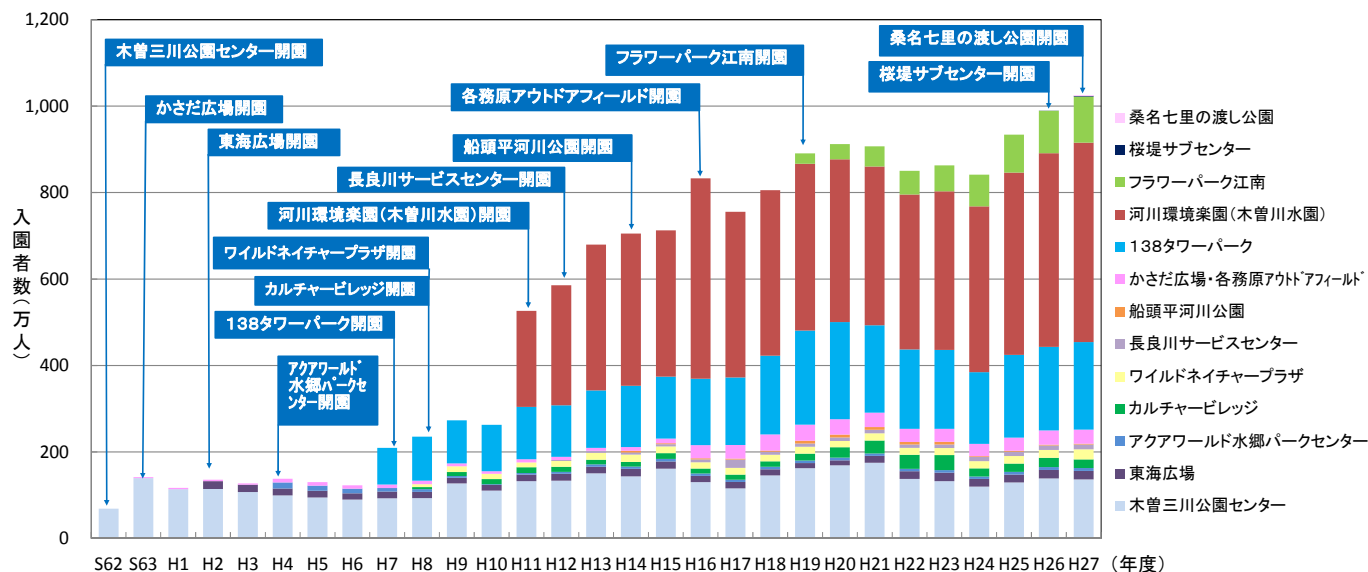
計画面積（都市計画決定面積）、事業承認面積、供用面積

（単位：ha）

地区名	計画面積（都市計画決定面積）				事業承認面積	供用面積
	堤内地	堤外地		計		
		高水敷	水面			
三派川地区	64.5	1,006.4	1,371.0	2,441.9	163.9	107.8
中央水郷地区	80.6	803.1	2,752.0	3,635.7	300.0	179.1
河口地区	2.2	7.4	0.0	9.6※	9.6	0.8
計	147.3	1,816.9	4,123.0	6,087.2	473.5	287.7

※河口地区は、桑名七里の渡し公園のみの面積。（平成28年3月末日現在）

利用者数の推移



開園状況

地区名	拠点名	開園年月	開園面積
三派川地区	フラワーパーク江南	H19.10	12.9ha
	かさだ広場 ・各務原アウトドアフィールド	S63.7 H17.3	11.3ha 23.5ha
	河川環境楽園(木曾川水園)	H11.7	33.7ha
	138タワーパーク	H7.4	26.4ha
中央水郷地区	ワイルドネイチャープラザ	H8.8	26.7ha
	桜堤サブセンター ・木曾長良背割堤	H27.3 —	7.5ha —
	長良川サービスセンター	H12.10	88.8ha
	アクアワールド水郷パークセンター ・大江緑道	H4.4 —	8.1ha —
	木曾三川公園センター	S62.10	11.0ha
	東海広場 ・鶴戸川	H2.4 —	20.1ha —
	船頭平河川公園	H14.4	2.7ha
カルチャービレッジ	H8.5	14.2ha	
河口地区	桑名七里の渡し公園	H27.11	0.8ha
合計			287.7ha

平成28年3月末日現在 (—は未供用)



三派川地区の総合拠点「138タワーパーク」



中央水郷地区の総合拠点「木曾三川公園センター」

2. 今後の重点的な取り組み

①木曾三川の特色をいかした整備・管理運営を進める

国営木曾三川公園は、濃尾平野のほぼ中央を貫いて流れる木曾川・長良川・揖斐川の木曾三川を基盤とする河川公園です。

今後も引き続き、国営木曾三川基本計画（以下「基本計画」という。）に基づきながら“選択と集中”により計画・整備・管理運営の各段階において河川とのつながり、拠点間につながり、地域との連携を重視し、拠点の魅力の向上を図りながら、一体感のある公園づくりに重点的に取り組みます。そのことにより、人と自然の共生、水と緑のネットワーク形成をはじめとした環境問題への取り組み、快適な暮らしと生活環境の確保、良好なランドスケープ、交流・文化・産業をはぐくむ地域づくり、歴史資源を活かした生涯学習への寄与など多方面での効果を追求します。

1) 水辺の自然環境をいかす

木曾三川固有の河川環境・生物多様性の保全・再生に留意しながら、水辺に近づける場所や川の雄大な景観を楽しめる場の提供など、川の魅力を感じていただくための取り組みを進めます。

また、環境教育プログラムの充実や適正な利用の誘導、きめ細かい環境管理など国営公園ならではの高度な管理運営を行うことで、河川環境の利用及び保全・再生に資する取り組みを進めます。



豊かな水辺環境が残るケレップ水制
(桜堤サブセンター・木曾長良背割堤の計画地)

2) 歴史文化資源をいかす

木曾三川固有の資源としての歴史・文化等をいかしつつ、周辺のまちや地域資源と国営公園を結ぶ機能の拡充、インバウンド向けサービスの向上など、さらに個性的で魅力あふれる拠点の整備・管理運営を進めます。

3) スポーツの振興を図る

国営木曾三川公園固有の広大な水面と河川敷を活かした水上スポーツ等の拠点としての機能をいかしつつ、地域の方々と連携したスポーツ振興の取り組みを進めます。

4) 地域と連携し、ひとつの公園としての一体感を創出する

広い範囲に拠点が存在する特色をいかして、ひとつの公園として、より高い効果を発揮するため、複数の拠点が連携した取り組みを推進します。

また、広域レクリエーションの充実、観光・周遊ネットワークの形成、地場産品の活用など地域の活性化に資するよう、周辺のまちづくり・公園や緑地、地域の方々と連携した取り組み・人材育成等を進めます。

さらに地域の防災・減災による災害に強い地域づくりにも寄与できるよう、関係機関との連携を図り、災害協力として、地域防災計画における、広域避難地や一次避難地として利用できるように取り組みを進めます。

②未供用区域の早期開園をめざし整備を進める

未供用区域について、コスト縮減を図りつつ、早期開園を目指して整備を推進します。

③より安全快適な施設整備・再整備を進める

外国人を含む、すべての方に安全・快適に公園を利用いただけるよう、既存ストックの機能の検証や必要な改修、より高い水準のユニバーサルデザイン化など、長寿命化の観点で計画的な維持管理と施設の再整備を進めます。また、子育て支援や高齢化社会、インバウンド促進に対応した整備に取り組みます。



車いすやベビーカーの方にも使いやすい施設
(木曾三川公園センター)

④効率的・経済的な整備・管理運営を進める

今後とも利用者の皆様に満足していただけるよう、公園施設・サービスの維持・向上を図りつつ、効率的・経済的な整備・管理運営に努めます。更に、民間事業者との連携等により魅力の向上に努めます。

3. 整備及び管理運営の重点事項

●川に親しみ学ぶ場や歴史文化に触れることのできる場を提供し、地域の観光資源としての魅力の向上を図ります

- 河川特有の自然環境の保全・再生、水と緑のネットワークの形成を図りながら、良好なランドスケープを育み、川に親しみ、遊び、憩うことのできる公園を整備します。
- 歴史文化遺産に触れることや歴史学習の拠点として「桜堤サブセンター・木曾長良背割堤」「桑名七里の渡し公園」「アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道」の整備を進め、公園機能の拡充を図ります。
- 木曾三川をフィールドとした環境教育プログラムの充実に努め、様々な環境問題、人と自然の共生への啓発を進めるとともに、観光資源としての魅力の向上に努めます。
- 木曾三川にまつわる歴史文化を活用した学習機会、インバウンド対応等の充実に努め、個性的で魅力あふれる地域づくり・活性化に寄与します。



地元留学生を対象にした
SNS発信ツアー
(木曾三川公園センター)

●沿川自治体や河川管理者と連携した取り組みを進めます

- 市民交流や観光の拠点として地域の活性化に貢献できるよう、集客力と情報発信力の向上に努めます。
- 沿川自治体や河川管理者と連携しながら、木曾三川沿いのサイクリングロード・遊歩道のネットワーク化やスポーツ・レクリエーションイベントの充実に取り組みます。



チューリップ祭り
(木曾三川公園センター)

●利用者や市民団体・NPO、民間企業とともに、計画・整備の検討、管理運営を行います

- NPOやボランティアの方々との協働により、環境教育プログラムの充実や指導者育成、花木草の維持管理などを行います。
- 市民の方々との協働・連携を進めるにあたり、計画や整備・管理運営の意見交換を進めます。
- 民間企業等と連携した利用者の利便性の向上、公園の管理運営の質の向上を図ります。



ボランティアによる活動
(フラワーパーク江南)

●安全・快適に利用いただける施設とサービスを提供するとともに、周辺自治体と連携した拠点間ネットワークの強化、災害時に避難地や防災拠点として機能するよう備えます

- 外国人を含む、すべての方に安心・安全に公園を利用いただけるよう、より高い水準のユニバーサルデザイン化、子育て支援や高齢化社会、インバウンド促進に対応した整備を進めます。

- ・障がいのある方や高齢者、小さなお子様連れの方も楽しめるスポーツ・レクリエーションの充実に努めます。
- ・施設整備にあわせ案内サイン等のデザインの統一及び多言語化を図るとともに、情報発信のための Wi-Fi 環境の整備等を行います。
- ・誰もが安心して使える安全で清潔なトイレや授乳スペース等の公共の空間づくりを行います。
- ・沿川自治体とのネットワーク協議会等において、公園づくり・地域づくりの方向性を共有しながら、沿川自治体や河川管理者と連携したサイクリングロードの整備により拠点間のネットワークを強化し、広域交流を促進します。
- ・広域避難地や一次避難地としての機能を発揮できるよう、施設整備や耐震化、自治体との連携体制の確立を図り、地域の防災・減災に貢献します。



障がいのある方をはじめ誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーションの充実
(長良川サービスセンター)

●既存施設の適切な修繕・再整備、効率的・経済的な維持管理を行います

- ・整備後、年数が経過し、老朽化が進んでいる施設等については、長寿命化の観点による適切な修繕・リニューアル（内容の更新）や効率的・経済的な維持管理により、ライフサイクルコストの削減を図りつつ、ストック効果が発揮できるように努めます。
- ・植栽については、主要な拠点の特性に応じた管理方針や目標を設定し、緑の質の確保と良好な景観形成が実現できるよう、中長期的な視点で適切な維持管理を行うとともに、管理のための人材を育成していきます。

●リサイクル・省資源に配慮した管理運営を行います

- ・園内で発生する剪定枝等の堆肥化や整備工事による伐採木の無料配布、雨水の再利用、河川整備で発生する残土利用など、資源の有効利用とコスト削減に努め、循環型社会の形成に寄与します。



堆肥化施設
(フラワーパーク江南)

4. 各拠点の整備・管理運営方針

三派川地区

フラワーパーク江南

テーマ『花とみどりの学習』

都市緑化の学習拠点をめざして平成19年10月に開園しました。暮らしの中に花やみどりを取り入れ、身近な自然にふれる場となるよう、様々な生活場面に応じた緑化・花卉修景を進めています。平成24年度の堆肥化施設整備をもってI期エリア整備を完了し、ボランティアとの協働による花壇管理やイベント運営を進めています。

平成27年度からは里山景観をイメージしたII期エリア整備に着手しており、今後は一部エリアの早期追加開園を目指します。また、植栽の適切な管理による緑の質の確保や環境教育プログラム・五感で楽しめる園芸の充実を図ります。



II期エリアの整備イメージ



かさだ広場・各務原アウトドアフィールド

テーマ『河川の広大な空間と豊かな自然』

河川特有の自然環境(カワラサイコ・カワロモギ等が息)を保全・再生しながら、広大な空間と豊かな自然の中で健康づくりやレクリエーション、自然散策などが楽しめる場となるよう整備を進めています。また、市民の方々や研究機関などの協力を得ながら、竹林の活用や外来生物対策などに取り組んでいます。

今後は、未開園区域の整備推進に向けた検討を進めます。また老朽化した施設の再整備により魅力の向上を図るとともに、市民と協働による保全の推進や、地域と連携したイベントを開催して利用促進を図ります。



外来生物の駆除



スポーツ・レクリエーションイベント



河川環境楽園（木曾川水園）

テーマ『川の自然と文化の環境共生型テーマパーク』 木曾川水園の役割～「木曾川が育んだ自然や風土・文化を遊びながら学ぶ」

「木曾川水園」では、木曾川の雄大な景観を楽しめる遊歩道・サイクリングロードの整備、また、隣接する研究施設やNPOと協働・連携しながら、環境教育プログラムの提供や指導者育成に取り組んでいます。

今後は、老朽化した施設や園路等の再整備により、魅力の向上と沿川まちづくりとの連携を図ります。また、植栽の適切な管理による緑の質の確保や地域の自然や歴史をいかした環境学習の充実を図ります。



環境学習活動



木曾川水園（農家と河原）

138タワーパーク

テーマ『三派川地区の総合拠点』

三派川地区の自然や歴史文化を幅広く紹介・情報発信するとともに、多くの人々が集い、交流する総合拠点として位置づけています。木曾川の雄大な流れを眺望できる「ツインアーチ138」をはじめ、大規模でユニークな施設を整備し、平成26年4月に全面開園しました。また、花のイベントやイルミネーションなど年間を通じて様々なイベントを開催しています。

今後は、既存施設のユニバーサルデザイン化を図るとともに、サイクリングネットワークの総合拠点としての機能を強化していきます。



ツインアーチ138



イルミネーション

中央水郷地区

ワイルドネイチャープラザ

テーマ 『祖父江砂丘の保全と活用』

木曽川特有の河岸砂丘と水面を活かし、ウインドサーフィン等の水辺レクリエーションが楽しめるよう、水辺に近づくやすい川岸やトイレ・シャワー、バーベキューが楽しめるピクニック広場・デイキャンプ場などを整備しています。

今後は、沿川まちづくりと連携を進めるとともに、未開園区域の整備推進に向けた検討を進めます。また祖父江砂丘のさらなる保全・再生を推進し、河岸砂丘を学習する拠点施設を検討するとともに、周辺施設や協力団体と連携し、年間を通した利用促進を図ります。



水辺レクリエーション



年間を通した砂丘の利用

桜堤サブセンター・木曽長良背割堤

テーマ 『背割堤周辺の自然と歴史』

ワンドやオギ原、ヤナギ林など木曽長良背割堤に残る豊かな水辺環境の保全と、ケレップ水制や桜並木などの歴史遺産に触れることができる場となることをめざし、平成19年度より高水敷エリア整備に着手し、平成27年3月に開園しました。

今後は、桜堤サブセンター(堤内エリア)の工事に着手します。また、歴史的な治水施設の活用と河川環境の保全を検討します。

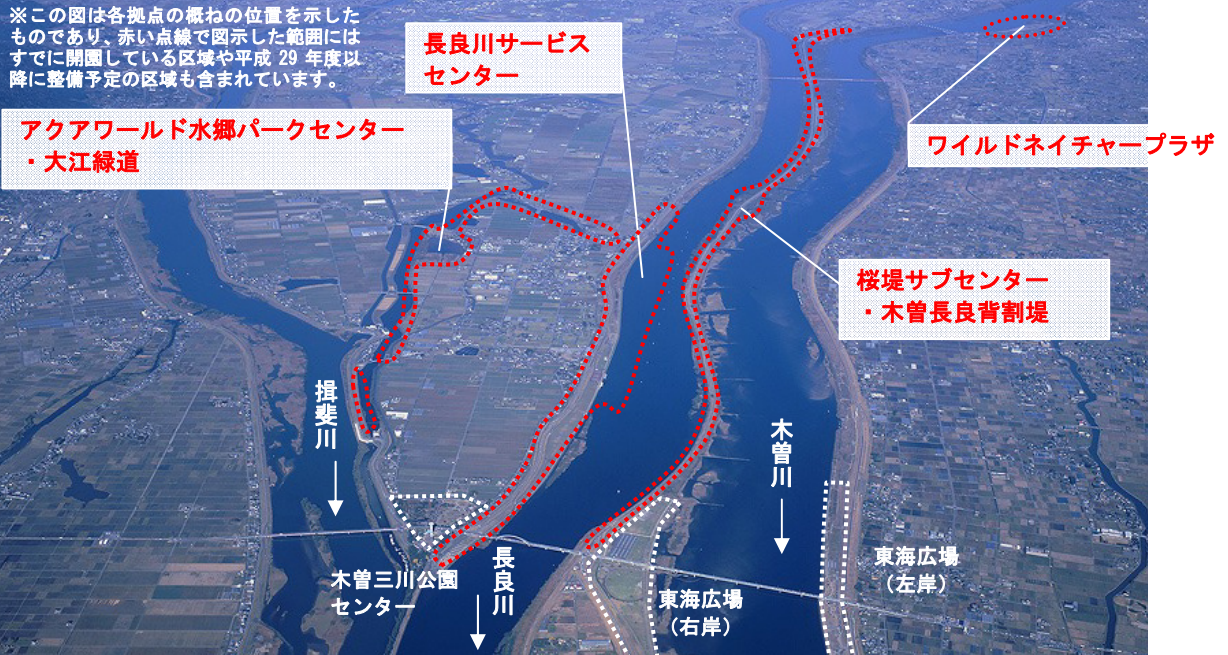


桜並木
(木曽長良背割堤)



桜堤サブセンター
(高水敷エリア)

※この図は各拠点の概ねの位置を示したものであり、赤い点線で図示した範囲にはすでに開園している区域や平成29年度以降に整備予定の区域も含まれています。



長良川サービスセンター

テーマ 『水上スポーツ』

広大な水面と河川敷を活かした水上スポーツ・レクリエーションの拠点として整備を進め、競技スポーツから障がい者スポーツまで、様々な層の利用者に親しまれるとともに、指導者育成の拠点としても活用されています。

今後は、長良川国際レガッタコースにおける、2020東京五輪事前キャンプ地としての誘致活動や、愛知・名古屋で開催が決定した2026アジア競技大会も視野に入れながら、水辺を活かしたスポーツ・レクリエーション拠点として、一層の利用促進を図ります。



水面を利用した競技大会や体験活動



各種スポーツの競技大会の誘致

アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道

テーマ 『水郷の自然と風景』

アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道は、市民団体やNPO等とパートナーシップを結び、環境学習や文化活動など幅広い市民活動の場として利用されています。

平成26年度より堀田の整備に着手しており、今後はパークセンター内の未供用エリアの追加開園を目指すとともに、水郷景観(堀田)を活かした環境学習や歴史学習の充実を図ります。

また、大江緑道の整備に向けた検討を進めます。



パークパートナー棟



堀田の整備イメージ

中央水郷地区

木曾三川公園センター

テーマ『中央水郷地区の総合拠点』

中央水郷地区の自然や歴史文化を幅広く紹介・情報発信するとともに、多くの人々が集い、交流する総合拠点として位置づけています。展望タワーから木曾三川の雄大な流れや輪中地域独特の地形を眺望できるほか、「水と緑の館」では映像などで木曾三川にまつわる歴史文化等をわかりやすく紹介しています。また、年間を通じて花のイベントやイルミネーションなど、様々なイベントを開催しています。

今後は、水と緑の館の安全性と魅力の向上を図るため、耐震化や展示施設のリニューアルに向けた検討を進めます。また、輪中の歴史文化に関する学習と、周辺施設と連携したイベントの充実を図ります。



展望タワー

東海広場・鶺鴒川

テーマ『水辺の自然と広大な空間』

水辺の自然に親しみ、広大な水辺の空間の中で各種スポーツやイベント、デイキャンプなど様々な屋外レクリエーションを楽しむことができるエリアとして整備を進めています。

平成 28 年度にサッカーグラウンドを整備し、今後は生涯スポーツであるパークゴルフコースの拡充により、一部区域の追加開園を目指します。また、ファミリーで楽しめるデイキャンプサイトの拡充に向けた検討を進めるとともに、多目的に利用できる水辺空間のさらなる利用促進を図ります。



パークゴルフ



デイキャンプ場



船頭平河川公園

テーマ『木曾三川の水生植物』

水に囲まれた立地を活かし、ハスをはじめスイレン、ポンテデリア、カキツバタなど様々な花がみられる美しい憩いの場として整備しています。

今後は、ハス田修景池の適切な保全と広報、及び周辺の公園や観光資源との連携、環境学習等による利用促進を図ります。



舟運



カキツバタ

カルチャービレッジ

テーマ『多様な文化活動を通じた広域交流』

スポーツや文化交流など多様な活動を通じて多くの人々が集い、にぎわいを創出する地域交流の拠点となることをめざし、「輪中ドーム」を活用した大規模な地域イベントや近接施設との連携に取り組んでいます。

今後は、輪中の郷など周辺施設と連携したイベントの充実を図ります。



霧の輪中



地域連携イベント(水郷フェスタ)

河口地区



※この図は各拠点の概ねの位置を示したものであり、赤い点線で図示した範囲にはすでに開園している区域や平成29年度以降に整備予定の区域も含まれています。

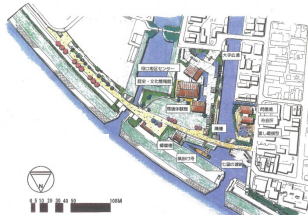
桑名七里の渡し公園

テーマ 『木曾三川を軸とした交流と繁栄の歴史』

桑名七里の渡し公園は、川とまちを結び木曾三川を中心とした人や物の交流が生まれ、文化を育み、地域の繁栄につながった歴史を紹介する場として整備を進めています。住吉地区の一部を平成27年度に開園しました。今後も整備を継続し、住吉地区の追加開園を目指すとともに、七里の渡し地区の整備に向けた検討を進めます。また、市民活動やNPOとの協働により、周辺まちづくりと連携した伝統文化の継承と利用促進を進めます。



整備された住吉地区



七里の渡し地区
(イメージ)

5. ネットワーク形成のための整備・管理運営方針

①遊歩道・サイクリングロードのネットワーク化

木曾三川の広大な空間をいかすとともに、健康づくりを支援するレクリエーションとしても遊歩道・サイクリングロードは重要な役割があるため、河川管理者や周辺自治体との連携のもと、三派川地区のネットワーク拡充と有効活用、中央水郷地区においてはネットワーク整備の事業化の取り組みを進めます。

また、利用促進のための施設配置や利用情報及び利用者の安全確保についても河川管理者や周辺自治体と連携して取り組みます。

②周辺地域との連携など広域的な利用の促進

周辺の公園緑地や歴史文化資源を広域的にめぐり、木曾三川の雄大な景観や豊かな自然環境、歴史文化を楽しんでいただけるよう、インバウンドの促進にも配慮しながら、周辺自治体と連携してマップ作成等の情報提供や、イベントの実施など利用促進に取り組みます。

また、カヌーイベントの開催など、河川水面を活かした広域的な利用ネットワークの形成に取り組みます。

このほか、公園へのアクセス向上、交通渋滞の緩和や駐車場の確保などの課題は、関係機関と連携しながら、周辺のまちづくりと一体となって取り組みます。

③エコロジカルネットワークとしての魅力や意義の発信

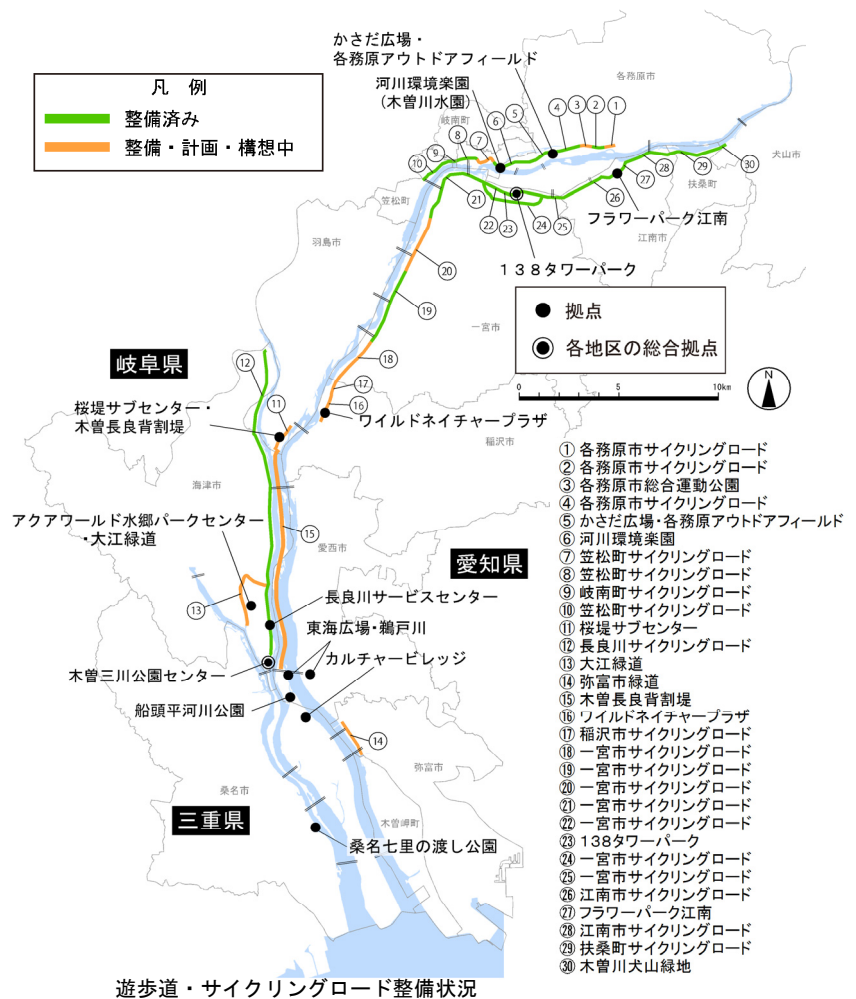
木曾三川は濃尾平野のほぼ中央を貫き、中部圏の骨格的なエコロジカル・ネットワークとして重要な役割を果たしています。自然環境の連続性を確保した整備に努め、木曾三川のもつ自然環境や風土の魅力を発信することで、水と緑のエコロジカルネットワーク形成の意義を広めていきます。

④流域の一体感の醸成

木曾三川流域全体の自然環境を基礎とした歴史や地域文化、地域資源のつながりを意識した管理運営を進めます。流域ぐるみのイベントの拡充、拠点連携イベントや流域文化の発信などの取り組みを進め、流域の一体感の醸成に取り組みます。

⑤広域防災への寄与

河川管理者等の関係機関と連携して広域的な防災機能を発揮できるように、大規模災害時における公園施設等の活用方法の検討を進めていきます。



6. 事業効果

①過年度事業におけるストック効果

1) 地域の観光振興への波及効果

チューリップ祭り（木曾三川公園センター・H28 実績約 19 万人）、サマーフェスタ（138 タワーパーク・H28 実績約 19 万人）、稲沢サンドフェスタ（ワイルドネイチャープラザ・H28 実績約 3.5 万人）など、地域との共催による多くの行催事場として活用されています。また海津マルシェ、桑名水郷舟めぐりなど、地元地域の歴史・文化や産業と結びついたイベントの開催によりにぎわいを創出しています。これらにより、地域における広域レクリエーション、観光・周遊ネットワークの活性化に寄与し、地域の観光振興への波及効果を生んでいます。



かわしま燦々夏まつり 約 12,800 人 /H28.7 (河川環境楽園：各務原市)



桑名水郷舟めぐり 約 6,700 人/H28.4 (桑名七里の渡し公園：桑名市)

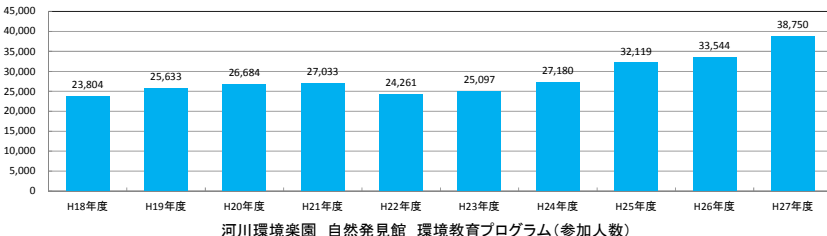


海津アクアマルシェ 約 4,000 人/H28.10 (アカワールド水郷パークセンター：海津市)

2) エコロジカルネットワークの形成と環境保全意識醸成への効果

河川ならではの自然環境の連続性確保に配慮した公園整備により、広域的な水と緑のエコロジカルネットワーク形成に貢献するとともに、こうした環境を活かした環境教育プログラムを開催することで、人々の自然環境保全意識を醸成する効果を生んでいます。

(人)



環境教育プログラムの実施(絶滅危惧種を知ろう～ハリヨを例に～・河川環境楽園)

3) 地域における防災・減災への貢献

本公園は周辺自治体の地域防災計画において、広域避難地や一次避難地に指定されているとともに、防災訓練に利用され、地域の防災・減災に貢献しています。

自治体の地域防災計画における国営木曾三川公園の位置づけ

地区名	拠点名	自治体名	地域防災計画名	国営木曾三川公園の位置づけ
三派川地区	フラワーパーク江南	江南市	江南市地域防災計画	広域避難地
	138タワーパーク	一宮市	一宮市地域防災計画	広域避難地
中央水郷地区	長良川サービスセンター	海津市	海津市地域防災計画	一次避難地
	アクアワールド水郷パークセンター	海津市	海津市地域防災計画	一次避難地
	木曾三川公園センター	海津市	海津市地域防災計画	一次避難地
	カルチャービレッジ	桑名市	桑名市地域防災計画	一次避難地



公園を利用した防災訓練 約 800 名/H28.6 (東海広場：愛西市)



公園を利用した防災訓練 約 300 名/H28.5 (桜堤サブセンター：羽島市)

②今後5年間の事業による効果

平成32年度までの間に本プログラムの施策を実施することで、次のような事業効果が見込まれ、ストック効果をより一層高めます。

1) 入園者数の増加

未供用区域の開園、環境学習やイベントの充実などにより公園の魅力が向上し、入園者数の増加が期待されます。また入園者数の増加は、アクセスルート上にある周辺観光施設の利用活性化に波及効果をもたらします。

2) 満足度の向上

川を身近に感じられる空間や安心して利用できる施設を整備するとともに、市民やNPO、ボランティアの方々と協働して質の高いサービスを提供することにより、利用者の満足度や公園への愛着が高まります。

利用者へのアンケート調査では、およそ98%の方から「非常に満足」または「まあまあ満足」との評価をいただいています。今後もさらなる満足度の向上をめざします。

3) 地域活性化（地域振興・貢献等）

●地域の活性化

地域と連携してイベントを行ったり、周辺の公園緑地や集客施設との一体的な利用を促すような施設整備やイベント開催、情報発信等を行うことにより、地域の観光振興やにぎわいの創出に貢献できます。

●河川空間を活かしたレクリエーションの充実

多目的に利用できる広場やデイキャンプ場などを整備したり、競技団体等と連携しながらイベントの充実を図ることにより、広大な河川空間を活かした特色あるスポーツやレクリエーションをより多くの方々に楽しんでいただけるようになります。

●ユニバーサルデザインの推進

園内のより高い水準のユニバーサルデザイン化を進めることにより、障がいのある方も楽しめるレクリエーションや交流の場の提供が促進されます。

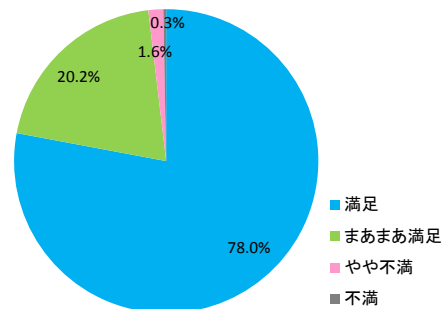
4) 環境保全

●水辺景観や生物の生息・生育空間の保全

ワンド、ヨシ原、水辺林や樹林地などの保全を行うことにより、河川らしい水辺景観や生物の生息・生育環境が保全されます。

●自然環境や歴史文化への理解の増進

人と川とのふれあいの空間や歴史文化に関する展示学習施設を整備するとともに、質の高い環境教育プログラムを提供することにより、より多くの方々に木曾三川の自然環境や歴史文化を知っていただけます。



平成27年度利用実態調査
(全拠点 (桜堤サブセンター除く))



ハンドメイド市



カヌー体験



車いすテニス



多様な河川環境の活用・保全



歴史文化を活用した環境学習

●環境負荷の軽減

維持管理作業により発生する剪定枝や刈草の堆肥化や雨水利用を行うことにより、公園管理に伴う環境負荷が軽減されます。

5) 防災

避難地や防災拠点の機能を持った施設整備及び耐震化により周辺地域の防災・減災に貢献します。



堆肥化施設



広域防災(広域支援基地設置訓練)